

小規模校におけるポジティブ行動支援 ～持続可能なPBSを目指して～

児童の実態 (R6年度アンケート結果より)



- 落ち着いて学習に取り組むことができる
- 仲良く協力し合って生活している
- 不安や心配事が少ない

- △ リーダー性・主体性が弱い
- △ 卒業後、不登校になる児童もいる



自ら考え、発信・行動する児童

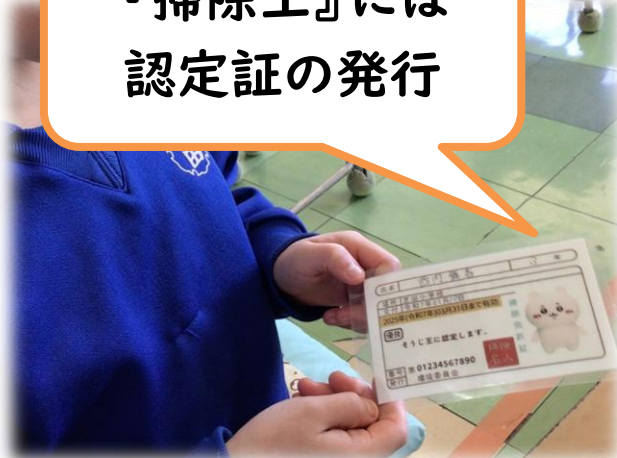
R6年度の取組（例：環境委員会）



1週間ごとの結果を
グラフで表示

掃除の仕方を劇で紹介

『掃除王』には
認定証の発行



芝田小学校 わかたけ wakatake 2024年度 第22号

学校だより

こんな芝田小学校にしたい
～自分たちの力で～

「あいつがいっぱいできる学校」、「みんな力を合わせる学校」、「人がみんなを守る学校」、「みんな安心して暮らすことができる学校」、「みんな笑顔な学校」、「みんなよくしゃべれる学校」、「みんなよく勉強する学校」、「みんなよく遊ぶ学校」、「みんなよく寝る学校」、「みんなよく食べる学校」、「みんなよく笑う学校」、「みんなよく泣く学校」、「みんなよく泣かない学校」、「みんなよく泣いて笑う学校」、「みんなよく泣いて泣かない学校」、「みんなよく泣いて泣いて泣かない学校」、「みんなよく泣いて泣いて泣いて泣かない学校」

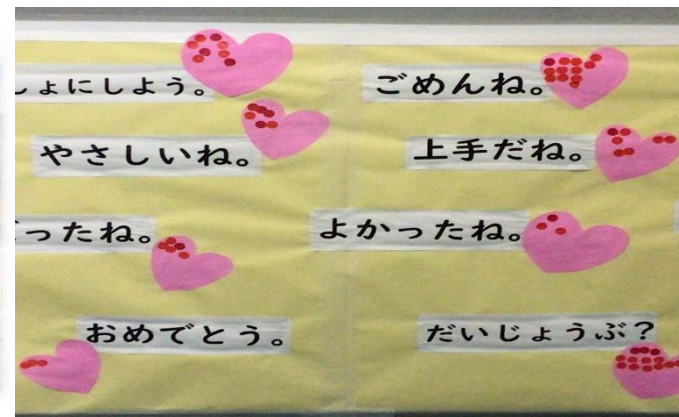
具体的な行動計画 2024.12.17

学校だより『わかたけ』

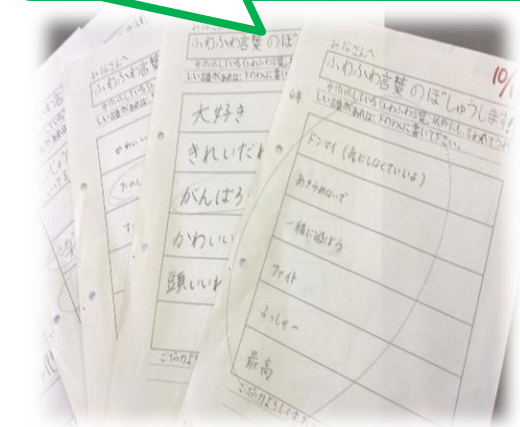
R6年度の取組（例：集会委員会）



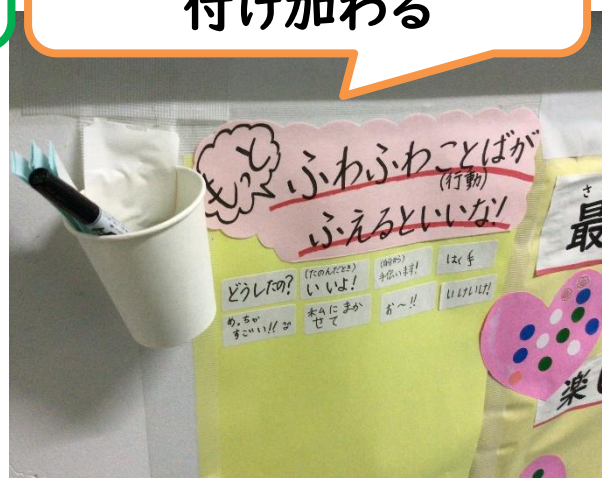
朝会で月目標を発表



増やしたい
「ふわふわ言葉」を募集



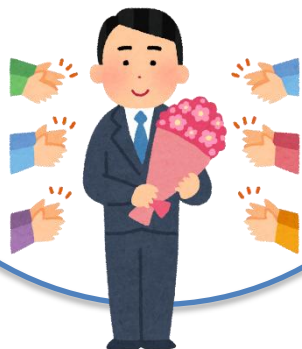
新たなふわふわ言葉が
付け加わる



大きな転換期



教員の異動



閉校に向けて



担当の負担増



持続可能なPBSを再考する

R7年度の取組（ブラッシュアップした点）



R6年度

各委員会からの発信

委員会活動を活用

委員会担当が主導

委員会ごとに計5つの目標



R7年度

全校（縦割班）での発信

全校集会（10分）を活用

全教職員で協力

目標を1つに絞って実施



「こんな小学校になりたい」を共有



1～6年生まで全員が
意見を出し合いました

R7年度：自ら進んであいさつする

職員研修の様子

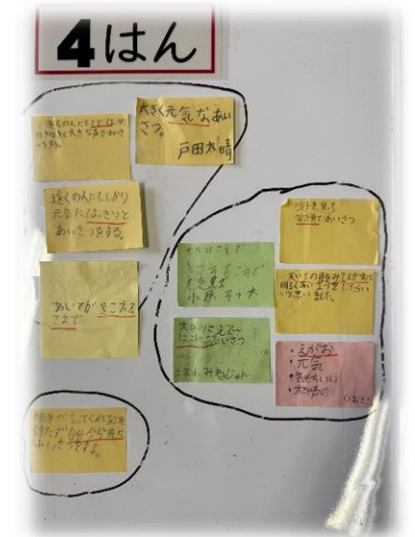
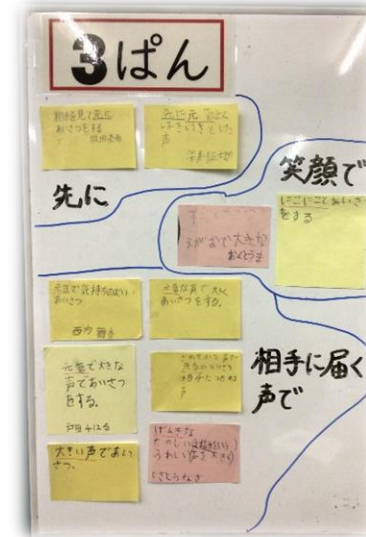
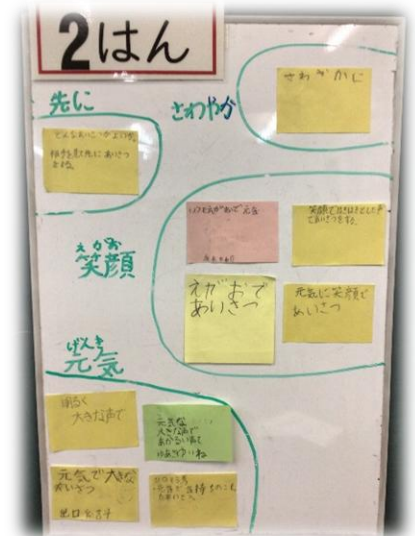
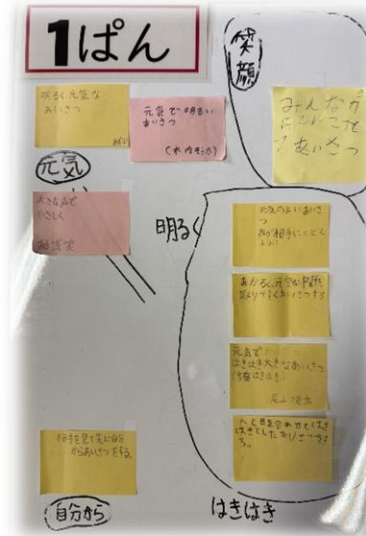


誰が見ても評価できる

あいさつの基準について協議しました

9/5(金)までに	各教室で、「なぜあいさつをしたほうがいいのか」を考える。また、「どんなあいさつがいいのか」も考え、一人一人が付箋に書いておく。
9/8(月)	朝の活動の時間(8:15~8:30)に、一人一人が事前に考えたあいさつについて書いた付箋を持って縦割り班で集まる。班で意見を出し合いながら「どんなあいさつがいいのか」話し合う。
9/8または9/9	話し合ってきたことをもとに、縦割り班の6年リーダーが「あいさつの3つのキーワード」を話し合って決める。
9/16(火)	朝会で「あいさつの3つのキーワード」について全校に知らせる。
9/16(火)	6校時の委員会の時間の後半は、縦割り班に分かれて、各班の5・6年生が【すてきなあいさつができたよ】のシールを貼っていく枠を作成する。
9/19(金)	朝の活動の時間(8:15~8:30)に、縦割り班で集まる。各班で、枠を完成させる。 ・3つのキーワードは、子どもたちが書く。 ・枠の周りには、自分の顔の絵を貼る。
9/22(月)	縦割り班集会(8:15~8:30)で、取り組み方(シールの貼り方)などを話して知らせる。 ※良い例の行動モデルをやるかどうかは 要相談
9/22(月) ~ 9/26(金)	第1週目の取り組み ・自分の挨拶を自己評価し、できたところにシールをはる。 ※シールは学年で色を変える。
9/29(月)	朝会で、第1週目の振り返りを行う。 ・全体で、表を見ながら振り返る。 ・体育館内で縦割り班に分かれて、自分たちの班のあいさつについて振り返る。
9/29(月) ~ 10/3(金)	第2週目の取り組み ・自分の挨拶を自己評価し、できたところにシールをはる。 ・友達の「すてきなあいさつ」を見つけたら、その友達の班の枠にシールをはる。(他者評価) ・教職員も子どもたちのあいさつの様子をみてシールをはる。 ※他者評価のシールと教職員のシールは、これまでのシールとは別の色にする。

縦割り班で理想のあいさつを考える



子どもたちからは
「笑顔で」「自分から」「とどく声」
という3つの基準が挙がりました

理想のあいさつについて全校で共有



あいさつの基準を発表



朝の立哨場面での
あいさつを例にモデリング

キャンペーン教材を作成

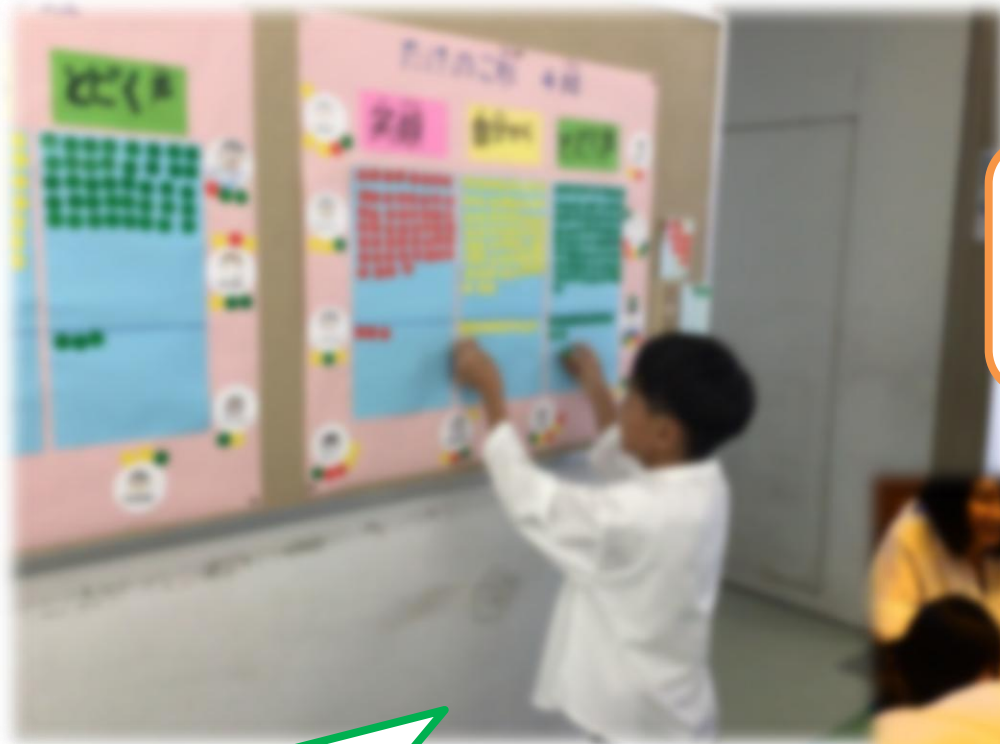


完成した表は4班分を掲示

子どもたち自ら
『あいさつシール表』を作成



取組の経過



シール表を持ち寄って
班ごとに振り返り

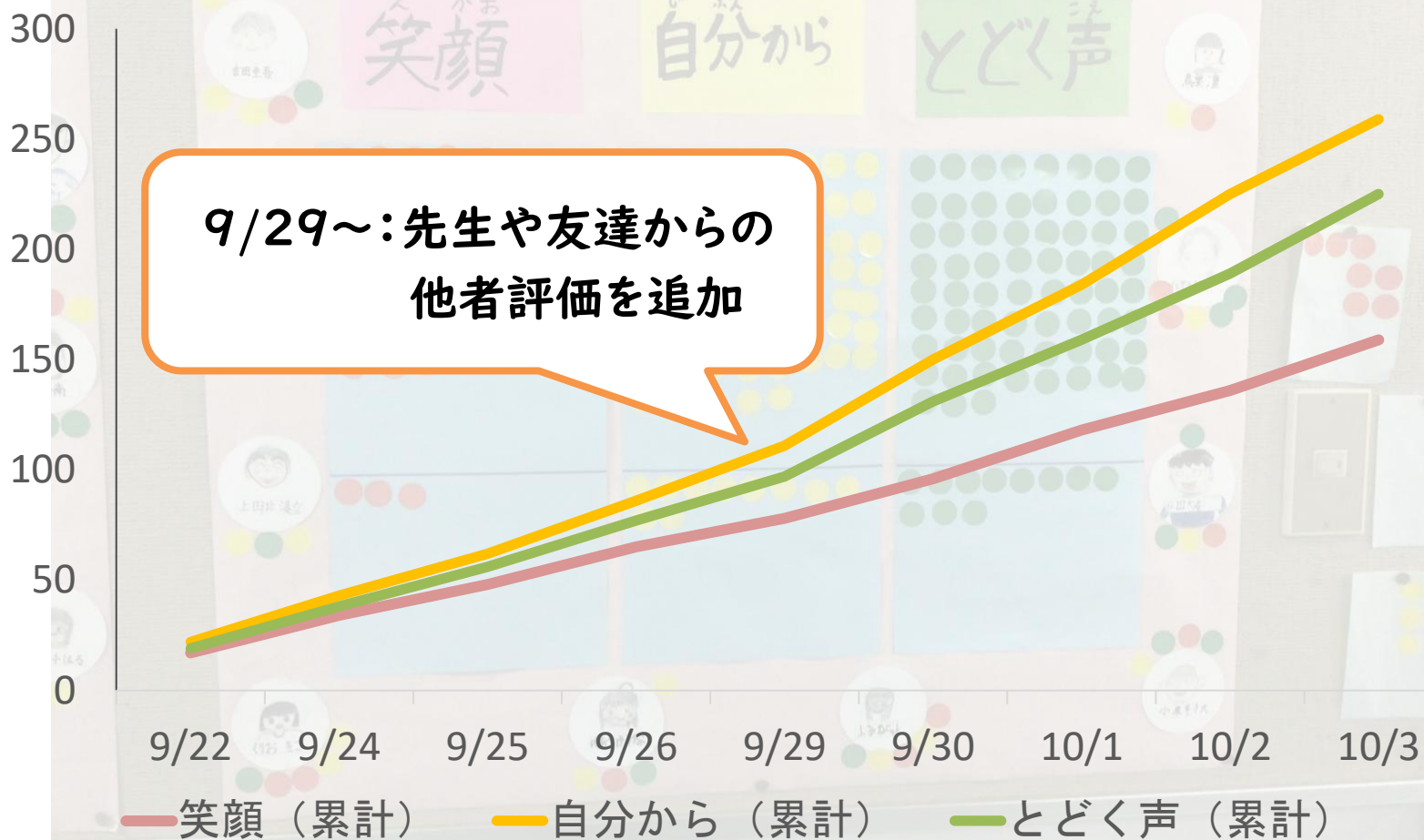
1日に1回
シールで自己評価



成果



3つの基準ごとのあいさつシールの合計数（4班）



取組後の変化について



『いじめ防止委員会』
によるあいさつ運動

子どもたち自ら
あいさつの輪を広げる



取組後の変化について



自分たちがキャラクターになりきって啓発活動を行う



作成した動画を給食時に放送



まとめ～2年間の取組のポイント～



①小規模校の特色を活かしたSWPBS



- ・全校での発信が浸透しやすい
- ・児童一人一人が活躍する場を設定しやすい
- ・変容に気づきやすく、望ましい行動を見つけやすい

②児童も教員も続けやすい取組を目指して



- ・目標や標的行動をしぼる
- ・全教職員で協力できる仕組みづくり

ご清聴ありがとうございました

